

我孫子市では令和4年度4月からコミュニティ・スクールがスタートし、2年目となった今年度も終盤にさしかかっています。今回は、地域の様々な立場の方が協力して開催した「白山中学校区防災キャンプ」と「並木小学校職業人講話」の様子を紹介します。

【第4回 白山中学校区 防災キャンプ】

11月23日に白山中学校を会場として、白山おやじの会主催の防災キャンプが行われました。今回の開催にあわせて協力したのは、「白山中学校PTA」「一小小おやじの会」「我孫子南まちづくり協議会」「我孫子市消防本部西消防署つくし野分署」「我孫子市消防団第1分団」「我孫子南地区社会福祉協議会」「我孫子南地区高齢者なんでも相談室」と、白山中学校区の様々な地域の皆さんです。

当日は、50人ほどの参加がありました。はじめに、「トークフォークダンス」を行いました。トークフォークダンスは、二重の円となって座り、向き合った相手とお題にあわせて1分ずつ話をします。フォークダンスのようにどんどん相手を変えて話していくのですが、大人同士、大人と子ども、子ども同士のどんなペアも（どんな年の差も）、話は盛り上がり、1分では足りないペアもたくさんありました。

トークフォークダンス
初対面だけど、盛り上がりました！



避難所のテントと段ボールベッド
試行錯誤しながら組み立てます



起震車で震度7の揺れを体験
あわせて救急車乗車体験も！



テントで煙体験。いざというときの対処法と、日頃の備えの大切さを知りました。



消火器で消火体験。続いて火起こしミッション。火を起こすのって、びっくりするほど大変！

トークフォークダンスをとおり、参加者の皆さんが仲良くなったところで、いよいよ4つのグループに分かれて体験活動開始です。どの体験コーナーでも、チームで相談・協力しながら取り組んでいました。また、体験コーナーを準備、運営してくださった側の皆さんも、参加者に声をかけながら生き生きと活動されている様子がとても印象的でした。

今回の活動をとおり、防災意識が高まったことはもちろん、年齢を問わず地域の様々な立場の方がこの防災キャンプを機会に顔見知りになったことが、より魅力的な地域づくりにつながって

いくと感じました。また、参加した子どもたちにとっては、普段の学校では体験できないすてきな学びの機会となったようです。

【並木小学校 職業人講話】

12月13日に並木小学校の6年生が、Abi-キャリア（小中一貫教育の中のキャリア教育に関するカリキュラム）の一環として「未来を担うわたしたち」と題した職業人講話を実施しました。講師は、地域学校協働活動として様々な職業に就いて活躍している地域に縁の深い9名の方が担当しました。



植物学研究者



不動産会社社員



クリエイティブディレクター



銀行員



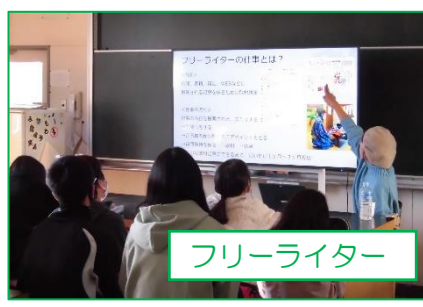
箏曲演奏家



会社経営者



映像クリエイター



フリーライター



フットサル選手

講師の方たちは、工夫を凝らしてそれぞれの仕事の内容や仕事に就いたきっかけ、やりがい、大切なこと、そして子どもたちの将来に向けての願いや期待などを子どもたちに伝えます。子どもたちは熱心に話を聞きながら一生懸命にメモをとり、途中で歓声をあげたり、「すごい」と思わず呟いたり、和やかな雰囲気を楽しそうに学んでいました。子どもたちにとって遠い存在に思いそうな職業もぐっと身近に感じたためか、質疑応答の時間には、たくさん子どもたちが目を輝かせて講師に質問をしていました。

講話会の最後に、コーディネート役を務めてくださった推進員の方が、今回の企画は、どの講師の方も地域の子どもたちのために喜んで引き受けてくださったこと、そして講師の方々自身も、地域の仲間として立場を生かして協力して仕事やイベントに取り組んでいることなどを子どもたちに伝えていました。また、講話会後に、講師の方たちが和やかに語らう様子を、いつからのご関係かお尋ねしたところ、推進員の方を中心に知り合い、こうした機会をきっかけにつながりを持つようになったとのことでした。

学校と地域がつながると、子どもたちの体験は豊かになり、地域の輪が広がり、豊かな地域コミュニティへとつながっていきます。子どもたちは、やがて地域の大人になり、ともに地域の子どもたちを育てる仲間になります。地域の大人が活躍される姿、地域に貢献される姿は、子どもたちにとっての未来の姿でもあります。

地域の学校の日頃の様子については、ぜひ学校HPをご覧ください。

